

新型コロナウイルスから 地域を守るために～地域で実践「新しい生活様式」～

入浴施設
事業者の
皆さまへ

医療機関の病床数が限られている飛騨地域では、クラスター(集団感染)の発生が医療崩壊につながります。

一人ひとりが、近距離での会話などの対策をこれまで以上に取り入れた生活様式を実践していくことで安全性が大きく向上し、感染予防となります。

一般的な感染予防を行いつつ、施設内における「新しい生活様式」の実践例を参考に、地域ぐるみで感染拡大防止を実践しましょう。

体調の悪い方はご遠慮いただきましょう

多人数での入浴はご遠慮いただきましょう

衛生管理を徹底しましょう

➤ 人がよく触れる場所の清掃・除菌を徹底しましょう

ロッカー、鍵、下駄箱、洗面所、ドライヤー、イス・ソファ、ドアノブ、スイッチ、手すり、トイレ、自動販売機のボタン、テーブル、カウンターなど共用で使用するものは、消毒用アルコールや次亜塩素酸ナトリウム等で定期的に清拭をしましょう

➤ 入口や受付にアルコール消毒液を設置しましょう

➤ 共有のクシや、トイレの共有タオル、ジェットタオルは使用を中止しましょう
(ペーパータオルなどがあるとよいです)

換気をしましょう

➤ 換気がとても大切です

ウイルスが空気中にとどまらないよう、少なくとも30分に1回以上数分間程度窓を開けましょう
可能なら2方向の窓を開けて施設内の空気が流れるようにしましょう

➤ エアコンの使用は控えましょう
※やむを得ず使用する際はこまめに換気をしましょう

※暑くなると閉め切ったエアコン使用を行いがちですが、換気不良に加えて、落下するはずだった飛沫を巻き上げ、室内で拡散&循環する懸念があるため推奨されません。



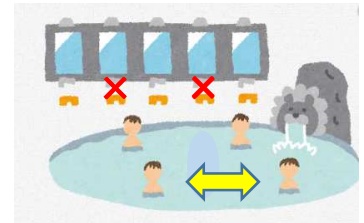
こまめな手洗いをすすめましょう

- 来場時には手指のアルコール消毒をしてもらいましょう
- 手洗い場には石けん等の準備をお願いします
- トイレ等で席を立った際にも、こまめに手を洗うことをすすめてください
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗ってもらいましょう



密閉した空間で人が密集・密接(3密)しない工夫をしましょう

- 混雑する時間帯を避けるように呼びかけましょう
(入場制限を設けることも時には必要です)
- ロッカーやカラン等を1個ずつ開けたり、席を減らして利用者同士の距離を開けましょう
- 浴槽、各サウナ室でも密接しないように呼びかけましょう



おしゃべりは控えめにしてもらいましょう

- 大きな声で会話をしなくてもいいようにBGMの音量を小さくしましょう

お湯などを介しての感染リスクは低いと言われていますが、脱衣所や浴室では、マスクをしないことや密接になりやすいことで、感染リスクが高くなります。

入浴施設は、従業員の目が届きにくいという特徴がありますので、来場時にひとりひとりに声をかけて注意を促しましょう。



サウナの高温でもコロナウイルスは死にません！！

サウナで最も注意が必要なのは、落下飛沫がついたタオルや座面・床です。サウナは密閉空間であることや呼吸が荒くなり呼吸数も増えることから感染リスクが高くなります。

共有タオルの頻繁な交換や座面・床の清掃を頻回に行うなど、サウナ内での感染対策を行いましょう。

安全の確保が難しい場合は、サウナの使用中止を検討しましょう。